

「神経筋性側弯症手術時腰背筋膜切離術併用の効果検証」へのご協力のお願ひ

神奈川県立こども医療センター 整形外科 では「神経筋性側弯症手術後」の患者さんを対象に「手術時腰背筋膜切離術併用の効果検証」についての研究を実施しています。この研究によって得られた情報は、これから同じ病気で手術を受ける方に役に立つと考えております。

研究課題名	神経筋性側弯症手術時腰背筋膜切離術併用の効果検証
研究の対象	2017年4月から2022年3月に、骨盤固定を含めた神経筋性側弯症手術を当科で受けた症例
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	神経筋性側弯症の典型例は、骨盤を巻き込んだ全脊柱にわたる大きな変形を呈す。その手術において、骨盤固定を併用することが多々あるが、その際に腰背筋膜の解離を併用するか否かは議論がある。拘縮短縮した腰背筋膜を切離することにより、骨盤傾斜の矯正を良くすると言う意見やデッドスペースの増加による感染リスクが言われたりもする。しかし、これらのほとんどがエキスパートオピニオンであり、具体的な評価を主目的として研究されたものは渉猟し得た限りない。本研究を行い、結果を当該の学術集会等で発表する。
研究期間	2022年6月から2023年3月まで
研究に使用する試料・情報の種類	年齢、身長、体重などのバックグラウンドデータ 手術時間、出血量などの手術に関するデータ 側弯角、骨盤傾斜などのレントゲン画像データ 個人特定情報は利用しません
研究実施機関（研究組織）	神奈川県立こども医療センター 整形外科
外部への試料・情報の提供とその方法	本研究では院内のみの使用で、外部に試料・情報の提供はありません
情報の管理について責任を有する者・所属	整形外科部長 中村直行

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2021年6月30日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。

また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

本研究はかながわ小児医療基金の助成を受けて実施しております。

研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、本研究の結果および解析等に影響を

及ぼすことはありません。

本研究の対象となる患者さんでご自身やお子さんの情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データからお子さんの情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることはございません。

尚、解析開始後は情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 研究責任者 整形外科
中村直行

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel : 045-711-2351 内線 2212